

推進施策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	1			
事業名	教育・保育要領に基づく教育の実施	担当課	学校教育課			
事業概要	<p>発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図ります。</p> <p>認定こども園における、年齢に応じた教育の実施に努めます。</p> <p>認定こども園と小学校との連携強化に努めます。</p> <p>遊びを通じた英語活動を進めます。</p>					
事業の対象	対象(誰を・何を)					
	幼児 意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの) 幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもので、幼児期の特性を踏まえた充実した教育が求められており、各園では、教育・保育の成果をしっかりと小学校につなげるよう、子どもたちを中心に据えた教育活動を展開し、健やかな育ちを指導・支援する。英語に触れる機会を増やすことで、幼児期からの英語に対する興味と意欲の向上をめざす。					
具体施策(Plan)	教育・保育要領に基づく教育課程を作成し、実態に合わせた指導計画を策定している。特に発達や学びの連続性を踏まえた教育を意識して、教育活動を行う。 認定こども園で、英語指導講師等による英語活動を実施する。					
令和3年度事業実績状況(Do)	小学校と連携し、小学校からの指導内容や指導方法を知り、幼児の学びや育ちに見通しをもった教育活動を行った。 「幼児の健やかな心と体の育成」に取り組むとともに、基本的な生活習慣の確立、自立心、社会性、道徳性、人とかかわる力の育成、遊びの中での思考力の基礎の育成、話す力・聞く力の育成、豊かな感性を育む教育を行った。 3・4・5歳児を対象に、英語指導講師・英語担当の保育教諭による英語活動を各クラスにつき月1回、年間計画のテーマに沿って実施した。英語の歌やあいさつ、ゲーム、運動を通して、楽しく活動できた。その時に覚えた歌やダンスを、その後担任の先生とともに歌ったり、生活発表会で、英語の歌を披露したりした。					
事業の評価(Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少			
	<input type="radio"/> かなり減少					
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない			
<input type="radio"/> できていない						
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)						
<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない				
<input type="radio"/> できていない						
目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)						
<input checked="" type="radio"/> 十分できている	<input type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない				
<input type="radio"/> できていない						
総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
	4	3	3	4	A	
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針(Action)	「幼稚園等教員育成指標」を基に、保育教諭の資質・指導力の向上に向けての研修を行い、0歳から就学前までの連続した保育・教育の質の向上を図る。 子どもたちは、楽しいゲームを通して、英語が好きになり、小学校へつなげていくことができるよう、健康福祉部と連携し認定こども園での英語活動を継続する。
教育委員会評価(二次評価)	子育て支援課、認定こども園との連携を強化し、就学前までの連続した保育・教育の質の向けて、取組を継続してください。					

推進施策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	2
事業名	確かな学力の育成	担当課	学校教育課
事業概要	<p>学力向上施策の推進に努めます。</p> <p>英語活動の時間数確保に努めます。</p>		
事業の対象	対象(誰を・何を)		
	児童・生徒		
事業の対象	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)		
	言語や異文化を理解することができる人材の育成に向け、小学校・中学校での英語活動の時間数確保に努める。		
具体施策 (Plan)	小学校・中学校ともに全学年において英語活動を実施し、言語や文化に対する体験的な理解やコミュニケーション能力の育成を目指す。		
令和3年度 事業実績状況 (Do)	<p>阿波市内すべての小学校・中学校において、海外から招致したALT(外国人指導助手)による英語の授業を取り入れるとともに、子ども達とALT(外国人指導助手)と英語の授業以外でもともに学校生活をおくることにより、外国人とのコミュニケーション能力や異文化を理解することのできる人材の育成の推進に取り組んだ。</p> <p>また、小学校においては英語講師によるT2での指導にも取り組み、英語に関する関心を高めることができた。</p>		
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 十分寄与する	<input type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)		
	<input type="radio"/> 十分できている	<input type="radio"/> できている	<input checked="" type="radio"/> あまり寄与していない
事業の評価 (Check)	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)		
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	総合評価		
	必要性	有効性	達成度
	4	4	2
	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)
	新型コロナウイルスの影響で、出入国の制限によりALT(外国人指導助手)の招致に支障が生じ、人材確保が難しいことが課題である。		
教育委員会評価 (二次評価)	学力向上推進講師と英語指導講師T2については、阿波市独自の取組であり、子どもたちのために継続的に実施してください。		

推進施策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	3
事業名	豊かな心の育成	担当課	学校教育課
事業概要	<p>人権教育、道徳教育の充実に努めます。</p> <p>命を大切に作る心、お互いを尊重し合う意識、いじめや暴力行為に向かわない態度の育成を図ります。</p> <p>体験活動の充実に努めます。</p> <p>芸術・文化活動の実施に努めます。</p>		
事業の対象	対象(誰を・何を)		
	児童・生徒		
事業の対象	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)		
	<p>人権教育・道徳教育を充実させ、生命を大切に作る心や思いやりの心をもった人間関係を構築し、いじめに向かわない態度の育成など、豊かな感性の中にも確かな人権感覚を持った児童生徒の育成、歴史や文化に触れる機会や文化的な体験活動を充実させることで、豊かな感性や情操を培う。</p>		
具体施策(Plan)	<p>命の大切さを学ぶ動植物の育成、世代間交流を通して、思いやりの心を育む。地域連携による郷土文化の継承活動、教科や特別活動における主体的な芸術・文化活動、人権教育の充実に推進した。「阿波市いじめ防止対策基本方針」に基づき、各学校でのいじめ防止の取組、早期発見、早期対応、教育相談体制、生徒指導体制、校内研修を組織的に取り組む。</p>		
令和3年度事業実績状況(Do)	<p>人権擁護委員と一緒に野菜や花を栽培したり、人権教育推進のための校内研修や道徳教育・人権教育の充実に努めた。阿波市人権教育研究大会も毎年開催している。伝統文化継承として、小学校では、地元の連を招いて、阿波踊りを練習し、運動会等で披露した。また小学校では、阿波市の名所・旧跡めぐりを実施し、郷土の文化財について学習した。</p>		
事業の評価(Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化・コスト削減しているか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 十分できている	<input type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
事業の評価(Check)	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 十分できている	<input type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	必要性	有効性	達成度
	4	3	4
	効率性	総合評価	
	4	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する	課題や今後の方針(Action)	<p>小学校では、平成30年度から、中学校では、令和元年度から道徳が教科化された。児童・生徒の豊かな情操と道徳心を培い、心の通う人間関係を構築する能力を養うため、発達段階に応じた指導内容を組織的、計画的に立案し実践する。</p>
教育委員会評価(二次評価)	<p>今後も清らかな心と、豊かな心、思いやりの心の育成に、努めてください。</p>		

推進施策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	4			
事業名	健やかな体の育成	担当課	学校教育課			
事業概要	<p>体力向上に関する取組に努めます。</p> <p>運動習慣や生活習慣の指導に努めます。</p> <p>部活動の活性化に努めます。</p> <p>薬物乱用防止教室の実施を図ります。</p>					
事業の対象	対象(誰を・何を)					
	児童・生徒					
事業の対象	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
	健やかな体の育成のため、体力づくりをはじめ、運動習慣の確立や望ましい生活習慣の形成を図る。また児童生徒の健康の保持増進を図ることや、学校教育活動に必要な健康や安全への配慮を行うことなどにも取り組む。					
具体施策(Plan)	各学校において、毎年「体力向上計画」を立て実施していく。スポーツへの関心や意欲を高めるとともに体力づくりを図る。					
令和3年度事業実績状況(Do)	<p>小・中学校では、運動習慣の定着、健康増進や体力向上を図るため、体力向上指導員派遣事業や阿波市スポーツ推進委員を活用しているが、コロナ禍により実施できなかった。また、全国体力・運動能力・運動習慣等の調査も中止になったが、コロナ禍における学校の新しい生活様式においてできる体力づくりを行った。</p> <p>薬物乱用防止教室を開催し、学校薬剤師等による指導・啓発を行った。</p> <p>中学校の部活動では、外部コーチを配置。</p>					
事業の評価(Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少	<input type="radio"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない		
事業の評価(Check)	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)					
	<input type="radio"/> 十分できている	<input type="radio"/> できている	<input checked="" type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない		
総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
	4	3	3	2		
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針(Action)	各学校の児童・生徒の実態に応じ、基本的な生活習慣の確立・食育の推進、体力の向上を図る。		
教育委員会評価(二次評価)	児童・生徒の体力に応じた計画的な取り組み、児童生徒の肥満度割合減少に向け、運動習慣の定着を進めて下さい。					

推進施策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	5			
事業名	教職員の資質向上	担当課	学校教育課			
事業概要	ICT活用に関する研修会の実施に努めます。 指導力向上の研修会・研究会の実施に努めます。					
事業の対象	対象(誰を・何を)					
	教職員					
事業の対象	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
	教職員誰もが、簡単にICT機器の利活用ができ、さらにはICT機器を活用した授業方法を研究し、「楽しくて、わかる授業」をめざす。					
具体施策 (Plan)	児童・生徒の学力向上推進のため、教職員対象に研修会や講演会を開催する。ICT活用教育に対する方針を示し、教員のICT活用指導力の向上に努める。阿波市小中学校ICT活用相談事業を実施する。					
令和3年度 事業実績状況 (Do)	ICT活用相談事業として、教育研究所研究員やICT支援員を各学校に派遣し、学校に対し技術面・運用面で、きめ細やかな支援を行った（ICT機器を活用した授業提案や操作支援等の授業支援、校務支援、ICT活用に対する情報の提供、校内研修、環境整備等）。また、小・中学校教職員を対象に阿波市教育情報セキュリティーポリシーの研修会と教育文化講演会を開催した。					
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少			
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない			
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input checked="" type="radio"/> 十分できている	<input type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない			
事業の評価 (Check)	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)					
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない			
総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
	4	3	4	3	A	
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> さらに重点化する <input type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	「教える授業」から「学びあう授業」へと変わる授業方法の改善に努める。ICT活用に苦手意識をもつ教員のサポート体制を充実させる。ICTを活用して校務の情報化、効率化を図る。
教育委員会評価 (二次評価)	より一層、ICT活用し、楽しくてわかりやすい授業の推進に取り組んで下さい。					

推進施策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	6			
事業名	働き方改革の推進	担当課	学校教育課			
事業概要	教員の在校時間等の可視化を図り、業務の改善に努めます。					
事業の対象	対象(誰を・何を)					
	教職員					
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
	業務の適正化と質的転換による教育力の向上と持続可能な学校づくりを目指す。					
具体施策 (Plan)	県による「とくしまの学校における働き方改革プラン」に沿って教職員の在校時間の適正化を推進する。					
令和3年度 事業実績状況 (Do)	令和3年度においては、校務支援システムを阿波市内の小中学校全校に導入し、教職員個人が出退勤を入力することで管理職等による教員の在校時間可視化を行った。					
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input type="radio"/> 増加	<input checked="" type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少	<input type="radio"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input checked="" type="radio"/> 十分寄与する	<input type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="radio"/> 十分できている	<input type="radio"/> できている	<input checked="" type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない		
	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)					
<input type="radio"/> 十分できている	<input type="radio"/> できている	<input checked="" type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない			
総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
	3	4	2	2	B	
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> さらに重点化する <input type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	在校時間の可視化を行ってはいるが、今後、教職員の業務における適正化を図ることが課題である。
教育委員会評価 (二次評価)	変形労働時間制をはじめ、教師の働き方改革には、様々なハードルがあると思いますが、工夫して推進に取り組んでいきましょう。					

推進施策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	7		
事業名	環境教育の充実	担当課	学校教育課		
事業概要	学校版環境ISOの指定に努めます。				
事業の対象	対象(誰を・何を)				
	児童・生徒				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	子どもたちが、環境保全活動や環境問題の解決に、自発的、積極的にかかわろうとする態度や能力を育成する。また生命や自然を大切に、郷土を愛するモラルの高い児童生徒を育成する。				
具体施策 (Plan)	「新・学校版環境ISO」を継続申請し、学校での節電や節水、ごみ分別、リサイクル活動、学校環境美化に取り組むとともに、これらの取り組みを地域に広げ、地域での環境美化活動や自然観察などの体験活動を積極的に行い、家庭や地域にも波及させていく。				
令和3年度 事業実績状況 (Do)	「新・学校版環境ISO」は、すべての小・中学校が取得しており、令和3年度は、土成小学校、八幡小学校、市場小学校、大俣小学校、久勝小学校、土成中学校が継続認証取得した(3年ごと)。 活動内容は、学校における節電や節水・ごみ分別・リサイクル活動、また地域に出向いての環境保全・環境美化・環境学習活動を行った。ごみゼロ運動やエネルギーについての学習を行うなど、各学校で様々な取り組みをした。				
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少	<input type="radio"/> かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="radio"/> 十分寄与する	<input type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="radio"/> 十分できている	<input type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
<input checked="" type="radio"/> 十分できている	<input type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない		
総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価 優れた取組が多く、十分成果が上がっている
	4	4	4	4	
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する			課題や今後の方針 (Action)	全ての小・中学校で環境について学習し、阿波市の自然保護、環境保護活動を積極的に行い、地域の環境を守るために行動できるよう学習する。
教育委員会評価 (二次評価)	美化活動や保全活動への参加により、環境についての学習と、郷土や自然に対する愛護の心を育ててください。				

推進施策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	8			
事業名	食育・地産地消の推進	担当課	給食センター			
事業概要	<p>食に関する指導の充実に努めます。</p> <p>地域の農産物、食文化への興味を高める学習を行います。</p> <p>阿波市学校給食農産物供給協議会や市産業経済部等との連携により、組織的な給食センターの運営に努めます。</p> <p>学校給食での地場農産物の利用を積極的に進めます。</p>					
事業の対象	<p>対象(誰を・何を)</p> <p>学校給食における、食育や農産物の地産地消を推進する。</p> <p>意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)</p> <p>「食事の重要性・感謝の心・食文化」などを学んでもらい、そのことが給食の残食を減らすことに繋げる。</p> <p>阿波市内産の新鮮な地場農産物を積極的に給食食材として使用する。</p>					
具体施策 (Plan)	<p>学校給食を中心とした食育推進で「食の大切さ・給食献立の栄養バランスの大切さ」を児童生徒に伝える。また、県が取り組むパワーアップ事業では、栄養教諭が学校へ出向き、対象学年で阿波市のテーマを決めて、食育授業に取り組む。</p> <p>阿波市学校給食農産物供給協議会担当者会を毎月1回開催し、2か月後の地場農産物の生育状況を確認するとともに、毎月の地場産農産物納入品目について聞き取りを行って決定し、地産地消率の向上を目指す。</p>					
令和3年度 事業実績状況 (Do)	<p>「Awa産Our消Myメニュー」コンクールを実施し、市内小中学生から521点の応募があり、うち入選作品を学校給食献立として提供。また、アエルワ食堂でも小中学生が考えた地産地消の献立メニューとして提供している。</p> <p>令和3年度の青果物の地産地消率は、61.2%で前年の60.7%を上回った。これは、市内のJAで構成する「阿波市学校給食農産物供給協議会担当者会」を毎月1回定期的に開催して、情報交換を重ねてきた結果や、その他の農産物についても積極的に阿波市産を納品してもらうように取り組んできた結果と考えられる。また米については、平成27度から継続して「阿波市産、あきさかり」を100%使用している。</p>					
事業の評価 (Check)	<p>必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 増加      <input type="radio"/> 横ばい      <input type="radio"/> 減少      <input type="radio"/> かなり減少</p> <p>有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)</p> <p><input type="radio"/> 十分寄与する      <input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する      <input type="radio"/> あまり寄与していない      <input type="radio"/> できていない</p> <p>経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)</p> <p><input type="radio"/> 十分できている      <input checked="" type="radio"/> できている      <input type="radio"/> あまり寄与していない      <input type="radio"/> できていない</p> <p>目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 十分できている      <input type="radio"/> できている      <input type="radio"/> あまり寄与していない      <input type="radio"/> できていない</p>					
総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
	4	3	3	4	A	
事業の方向性	<p><input type="radio"/> さらに重点化する</p> <p><input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する</p> <p><input type="radio"/> 見直しのうえ継続する</p> <p><input type="radio"/> 事業の縮小を検討する</p> <p><input type="radio"/> 休止・廃止を検討する</p>				課題や今後の方針 (Action)	令和3年度の地産地消率がKPIを上回るとともに、対前年比においても0.5ポイント増となった。今後も引き続き農産物供給協議会を通じて、地産地消を進めるとともに、食育活動にも積極的に取り組み、安全・安心でおいしい給食の提供に努める。
教育委員会評価 (二次評価)	児童・生徒から保護者へ、そして市民に広がる食育の取組を、今後も推進してください。					



推進施策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	9
事業名	ICT教育の推進	担当課	学校教育課
事業概要	<p>ICTを活用した授業の推進に努めます。</p> <p>緊急時に備えた、オンライン学習等の体制を整備します。</p> <p>ICT支援員を配置します。</p> <p>ICT教育に必要な機材の活用、充実を図ります。</p>		
事業の対象	対象(誰を・何を)		
	児童・生徒・教職員		
事業の対象	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)		
	「確かな学力」を育成するため、児童生徒の学習・生活状況を踏まえた、わかる授業の実践を組織的に進め、指導方法の改善に努める。		
具体施策 (Plan)	学力向上推進講師を各小学校に配置し、TT指導や放課後学習の指導を通して学力向上を図る。英語指導講師を小学校に配置し、小学校1年生から英語活動を実施している。タブレット型パソコン等の活用による授業方法の改善を図る。		
令和3年度 事業実績状況 (Do)	学力向上推進講師10名を小学校に、2名を学校教育課に配置し、英語指導講師5名を小学校に配置した。 また、タブレット型パソコン、デジタル教科書、実物投影機等のICT機器を活用した「楽しくて、わかる授業」の実践に取り組んだ。ICT支援員として、教育研究所研究員や情報通信技術支援員を各学校に派遣し、技術面・運用面での支援や教職員のICT活用力の育成を図った。		
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)		
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
事業の評価 (Check)	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)		
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
総合評価	必要性	有効性	達成度
	4	3	3
総合評価	効率性	総合評価	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
	3	B	
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> さらに重点化する <input type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する	課題や今後の方針 (Action)	教職員やICT支援員と連携しながら1人1台端末を活用した授業の進め方を計画・実践する。
教育委員会評価 (二次評価)	今後、ICT機器を活用した学習が増えるため、より一層、研修やICT支援員と連携してください。		

推進施策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	10
事業名	読書活動の推進	担当課	学校教育課
事業概要	読書活動の推進に努めます。		
事業の対象	対象(誰を・何を)		
	児童・生徒・保護者		
事業の対象	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)		
	読書活動を通じて、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高めて想像力を豊かにするとともに、広く世界を知り、生きる力の基盤を身につける。興味・関心を尊重しながら、自主的な読書活動を推進する。		
具体施策 (Plan)	小・中学校では、学校図書環境整備・充実や読書活動を定着させる時間の確保、学校と図書館の連携、学校ボランティアの読み聞かせを実施する。		
令和3年度 事業実績状況 (Do)	小・中学校では、朝の読書活動を積極的に推進している。読書ボランティアによる読み聞かせも多くの学校で実施している。また、ブックリストを作成し、児童生徒の興味と関心を高めた。		
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 十分寄与する	<input type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)		
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
事業の評価 (Check)	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)		
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	総合評価		
	必要性	有効性	達成度
	4	4	3
	総合評価		
A			
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action) 保護者に対し、読書活動の意義や重要性、楽しさを味わってもらい、家庭での読書習慣の重要性を再認識するための情報発信や啓発を行う。
教育委員会評価 (二次評価)	保護者への情報発信と啓発により、家庭内読書習慣の意義や重要性について取組を進めてください。		

推進施策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	11
事業名	就学援助の実施	担当課	学校教育課
事業概要	教育の機会均等の理念に基づく就学援助を図ります。		
事業の対象	対象(誰を・何を)		
	児童・生徒の保護者		
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)		
	経済的理由のため就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、就学援助費を交付することで、義務教育の円滑な実施に資する。		
具体施策 (Plan)	毎年5月に申請を受け付け、7月認定。 小学校1年生に限り、認定後4月に遡り支給。 援助費の内容：学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、医療費等		
令和3年度 事業実績状況 (Do)	小学校185件、中学校136件の就学援助(準・要保護)を実施した。 また、令和4年度の新1年生(小・中学校)に対し、入学前に「新入学児童生徒学用品費」を、小学校14件、中学校27件支給した。		
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)		
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
総合評価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 十分できている	<input type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	必要性	有効性	達成度
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する	課題や今後の方針 (Action)	就学が困難な児童生徒の保護者に対し、引き続き広報する。
	教育委員会評価 (二次評価)	今後も、就学が困難となる児童生徒と保護者に対し、就学援助と入学前支給を継続してください。	

推進施策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	12		
事業名	キャリア教育の推進	担当課	学校教育課		
事業概要	職場体験学習等の充実に努めます。				
事業の対象	対象(誰を・何を)				
	児童・生徒				
事業の対象	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現できる力を身につけるような教育活動を行う。				
具体施策 (Plan)	小学校では、「働くことの意義」や「自己の生き方」についての学習、中学校では、他者とのかかわりの中で、自分らしさに気づき、夢や希望に向かっていく心豊かな生徒の育成に努める。				
令和3年度 事業実績状況 (Do)	小学校では、将来の夢について発表したり、目標に向かってチャレンジする精神力と行動力の育成のための学習に取り組むとともに、児童を認め、褒め励ます教育活動の充実を図った。中学校では、コロナ禍のため、2年生で職場体験学習は実施できなかったが、県が実施する「キャリア教育を支援するための講演・出前授業」等を活用した。また、各教科の中で、社会形成能力、自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力の育成を図った。				
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少	<input type="radio"/> かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="radio"/> 十分寄与する	<input type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
事業の評価 (Check)	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価 優れた取組が多く、十分成果が上がっている
	4	4	3	3	
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する			課題や今後の方針 (Action)	教科、特別活動、部活動等を通して、課題を見つけ、自ら解決し、より良い生き方考える学習を実施する。
教育委員会評価 (二次評価)	今後も様々な活動を通して学習し、自ら解決する心と、生きる力の育成に取り組んでください。				

推進施策	1-2 家庭や地域との連携・協働	No.	13
事業名	学校・家庭・地域と連携した取組	担当課	学校教育課
事業概要	<p>社会福祉体験活動等の実施に努めます。</p> <p>ゲストティーチャーの活用により多彩な学びを提供します。</p> <p>学校支援ボランティア事業を推進します。</p> <p>学校施設を開放し活用を推進します。</p>		
事業の対象	対象(誰を・何を)		
	児童・生徒		
事業の対象	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)		
	児童・生徒が地域の行事に参加したり、地域の方々との関わりの中で、郷土を愛する心を養う教育につなげたい。		
具体施策 (Plan)	地域行事への参加、またゲストティーチャーを活用し、地域の教育力を生かした活動を行う。		
令和3年度 事業実績状況 (Do)	中学校美術部のやねこじきへの参加により、地域の文化芸術の発展に努めた。また、学校支援ボランティアによる読み聞かせ、農業体験、もちつき体験等を行い、地域の方々と交流した。(学校支援ボランティア 45名)		
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 十分寄与する	<input type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 十分できている	<input type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
事業の評価 (Check)	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)		
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
総合評価	必要性	有効性	達成度
	4	4	4
総合評価	効率性	総合評価	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
	3	A	
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する	課題や今後の方針 (Action)	学校支援ボランティアを活用し、地域を学ぶ学習を行う。また、地域資源を活用した学習を年間指導計画に位置づけ実践する。
教育委員会評価 (二次評価)	学校支援ボランティアの活動や地域資源を活用した学習を通して、地域との結びつきを、大切にできる心を育ててください。		

推進施策	1-2 家庭や地域との連携・協働	No.	14			
事業名	コミュニティ・スクール制度への移行	担当課	学校教育課			
事業概要	コミュニティ・スクールへの移行を検討します。					
事業の対象	対象(誰を・何を)					
	小・中学校					
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
	各学校が家庭や地域と連携協力して子どもたちの健やかな成長を図っていくため、地域に開かれた学校づくりのため、保護者や地域住民等の意向を把握して学校運営に反映させる。					
具体施策 (Plan)	令和4年度からのコミュニティ・スクール制度導入に向けて、「学校運営協議会規則」の制定、予算措置(委員報酬)、説明会・研修等を行う。					
令和3年度 事業実績状況 (Do)	「学校運営協議会規則」の制定、予算措置(委員報酬)、学校の管理職等に向けての制度の周知と研修会を実施した。					
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少	<input type="radio"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input checked="" type="radio"/> 十分寄与する	<input type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input checked="" type="radio"/> 十分できている	<input type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない		
総合評価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)					
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない		
	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	3	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する			課題や今後の方針 (Action)	子どもや学校が抱える複雑で多様化した問題を、地域住民等と共有し、地域の声を積極的に生かし、社会全体で学校運営に関われるよう、「地域とともにある学校づくり」を進める。	
教育委員会評価 (二次評価)	今年度よりコミュニティ・スクールを設置することから、学校と地域との連携・協働関係を強化し、質の高い教育を目指しましょう。					

推進施策	1-3 心と体の健康問題への対応	No.	15		
事業名	適応指導教室「阿波っ子スクール」の運営	担当課	学校教育課		
事業概要	<p>不登校児童生徒の学校復帰や社会的な自立の支援を行います。</p> <p>不登校問題等に関する対策協議会の開催を図ります。</p> <p>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、専門的な視点からのサポートを行います。</p>				
事業の対象	対象(誰を・何を)				
	不登校児童・生徒				
事業の対象	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	何らかの心理的・情緒的な原因により登校しない、又は登校できない状態にある児童生徒に対して、学校復帰の指導及び援助を行う。				
具体施策 (Plan)	阿波っ子スクールでは、基本的な生活習慣の改善や集団生活への適応、基礎学力の補充等のための教科学習、社会見学、スポーツ学習、野外活動等の体験学習及び相談活動を行う。				
令和3年度 事業実績状況 (Do)	<p>活動内容：基礎学力の補充（5教科）及びテスト前による各専門教科の先生による教科指導、農作業、調理実習、スポーツ活動、交流会を開催。スクールカウンセラー（月4回）、スクールソーシャルワーカー（月4回）によるカウンセリングを実施（保護者の教育相談、適応指導教室指導員に対する助言）。地域ボランティア（農業1名）、大学院生ボランティア（3名）による活動。</p> <p>令和3年度入級者は、中学生19名（男子11名、女子8名）、相談者7名。</p> <p>また、コロナ禍により「不登校問題に関する対策協議会」が書面開催となったが、不登校実態調査の結果と考察を共有し各関係機関と学校との連携につながるよう努めた。</p>				
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少	<input type="radio"/> かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
	4	3	3	3	
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	児童生徒の実態に応じた適切な支援を行うためにも、各学校の教職員、関係機関の職員、児童民生委員等の共通理解と連携を図るとともに、組織体制を強化する。	
教育委員会評価 (二次評価)	保護者・教職員・関係機関との連携を一層強化し、支援に取り組んでください。				

推進施策	1-3 心と体の健康問題への対応	No.	16			
事業名	教職員の指導力とカウンセリング能力の向上	担当課	学校教育課			
事業概要	<p>児童生徒理解の徹底を図ります。</p> <p>いじめに関するアンケート調査を実施します。</p> <p>保健相談・発達相談の充実を図ります。</p>					
事業の対象	対象(誰を・何を)					
	児童・生徒					
事業の対象	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
	児童・生徒の心のケアをはじめ、保健相談・発達相談を通じて、子どもたちや保護者の悩みや不安の解消、心の問題の未然防止や早期支援を行う。					
具体施策 (Plan)	小・中学校では、養護教諭が担任等と連携しながら、保健指導を実施したり、各中学校に配置しているスクールカウンセラーが児童生徒や保護者の心の相談を行う。					
令和3年度 事業実績状況 (Do)	各学校では、年に2~3回、いじめ調査のアンケートを実施し、実態を把握し、解消に取り組んだ。また、スクールカウンセラーによる児童・生徒や保護者に対する定期的なカウンセリングだけでなく、心の健康が十分でない児童生徒に対して、直接教育相談を行ったり、養護教諭や学級担任と密に連絡をとって対応できた。スクールソーシャルワーカーを配置し、福祉の視点からも児童・生徒や保護者、学校をサポートした。					
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少	<input type="radio"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない		
総合評価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)					
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない		
	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	3	3	3	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する			課題や今後の方針 (Action)	組織的な相談体制を充実させるとともに、いじめ防止やいじめの早期発見についても、全職員で組織的に取り組む。	
教育委員会評価 (二次評価)	アンケートなどによる実態把握に取り組み、いじめ防止や早期発見のため、組織的な相談体制で取り組んでください。					



推進施策	1-4 特別支援教育、帰国・外国人児童生徒の支援の充実	No.	17
事業名	障がいのある子どもの教育環境づくり	担当課	学校教育課
事業概要	<p>教育支援計画を活用した指導や支援の充実を図ります。</p> <p>特別支援教育に関する研究会・研修会を実施します。</p>		
事業の対象	対象(誰を・何を)		
	障がいのある幼児・児童・生徒及びその保護者、教職員		
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)		
	障がいのある子どもたち、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し、社会参加するための基盤となる生きる力を培うため、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。		
具体施策 (Plan)	支援を必要とする幼児・児童・生徒の実態に応じた学習環境の整備と特別支援教育に対する教職員の意識や指導力の向上を図る。		
令和3年度 事業実績状況 (Do)	すべての小中学校で、特別支援教育コーディネーターを置き、子どもたちを学校全体で支えた。支援が必要な小中学校には、加配教員を配置するなど、支援体制の充実を図った。また各学校では、個別の教育支援計画を作成し、児童生徒の一人ひとりのニーズを正確に把握しながら、的確な教育的支援に取り組んだ。特別支援に携わる教職員を対象に、「切れ目のない特別支援教育～幼保小連携と保護者支援～」の研修会を開催した。		
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)		
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
事業の評価 (Check)	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)		
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	総合評価		
	必要性	有効性	達成度
	4	3	3
	総合評価 B		
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> さらに重点化する <input type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する	課題や今後の方針 (Action)	増加傾向にある支援を必要とする児童・生徒の教育的環境を整える。施設整備、人的支援を行いながら、研修会を開催し、更に支援体制を整える。
教育委員会評価 (二次評価)	学習・支援を要望する子どもの実態に応じ、校内における支援環境と体制整備を務めるとともに、特別支援教育に対する教職員の、意識と指導力の向上に努めてください。		

推進施策	1-4 特別支援教育、帰国・外国人児童生徒の支援の充実	No.	18
事業名	相談支援体制の充実	担当課	学校教育課
事業概要	特別支援学校の教員や専門の指導員・相談員、市健康福祉部との連携を深めます。		
事業の対象	対象(誰を・何を)		
	障がいのある児童・生徒		
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)		
	医療・福祉・保健・教育等関係機関で連携した取り組みができるように、特別支援教育推進体制づくりを行う。		
具体施策 (Plan)	特別支援連携協議会を開催し、専門的な指導を受け、関係諸機関との連携を図る。		
令和3年度 事業実績状況 (Do)	特別支援連携協議会を開催し、教育・福祉・医療・保健等の関係者が連携し、支援が必要な子どもたちに、乳幼児から学校卒業までの一貫した相談・支援ができるよう努めた。(学校(園)と障害児通所支援事業所等との連携推進部会：R4.1.6開催) 毎年入園・入学後、速やかに楽しく有意義な学校生活が送れるように、「入園おうえんシート」「入学応援シート」の活用を勧め、学校と家庭で必要な情報を共有した。		
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)		
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
総合評価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)		
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	必要性	有効性	達成度
	4	3	3
	効率性	総合評価	
	3	B	
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する	課題や今後の方針 (Action)	乳幼児から学校卒業までの長期的な視点から、一貫性のある支援ができる体制づくりをする。
教育委員会評価 (二次評価)	今後も、特別支援連携協議会の開催により、専門的な指導を受けるとともに、関係機関との連携に努めてください。		

推進施策	1-4 特別支援教育、帰国・外国人児童生徒の支援の充実	No.	19		
事業名	帰国・外国人児童生徒への支援	担当課	学校教育課		
事業概要	学校生活や学習を支援します。				
事業の対象	対象(誰を・何を)				
	日本語指導が必要な児童生徒				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	日本語能力が十分でない児童生徒に対し、日本語講師による日本語指導を実施し、学校生活や学習を支援する。				
具体施策 (Plan)	国および県の「帰国・外国人児童生徒トータルサポート事業」を活用し、継続性のある支援を行う。				
令和3年度 事業実績状況 (Do)	令和3年度は、中学生1名が、「帰国・外国人児童生徒トータルサポート事業」を活用し、日本語教育の支援を受けた。				
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	<input type="radio"/> 増加	<input checked="" type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少	<input type="radio"/> かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
3	3	3	3	B	
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	日本語指導が必要な児童・生徒が増えれば、さらに支援体制を整えなければならない。	
教育委員会評価 (二次評価)	外国からの転入児童生徒に対し、補助事業を活用するなど、適正かつ十分な日本語指導及び、学校生活相談に努めてください。				

推進施策	1-5 安全・安心な教育環境づくり	No.	20
事業名	地域全体の連携強化	担当課	学校教育課
事業概要	家庭、地域、関係機関と連携した安全指導や巡回指導を実施します。		
事業の対象	対象(誰を・何を)		
	児童・生徒		
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)		
	子どもたちの健やかな成長と自己実現をめざし、家庭や地域、関係機関と連携しながら、常に安全で安心な環境を確保する。		
具体施策 (Plan)	阿波市青少年育成センターや警察と連携し、不審者情報の提供、登下校のパトロール、広報活動、ゲームセンター・量販店・書店等の巡視、防犯教室等を開催する。またスクールガードリーダーによる巡回指導と学校安全に対する指導を行う。		
令和3年度 事業実績状況 (Do)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の点検(学校・警察・地域等の連携)</li> <li>・啓発のぼりの作成、街頭補導(学校・警察・地域・青少年育成センター等の連携)</li> <li>・スクールガードリーダーによる巡回指導</li> </ul>		
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="radio"/> 十分できている	<input type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
総合評価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)		
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない
	必要性	有効性	達成度
	4	3	4
	効率性	総合評価	
	3	A	
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> さらに重点化する <input type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する	課題や今後の方針 (Action)	地域全体で、子どもたちの安全を確保する体制の強化を図るとともに、自らが危険予測能力や危険回避能力を身につける学習を行う。
教育委員会評価 (二次評価)	今後も、家庭や地域、関係機関と連携しながら、スクールガードの充実に努め、安全の確保や危機管理能力の育成に努めてください。		

推進施策	1-5 安全・安心な教育環境づくり	No.	21			
事業名	防災教育の充実	担当課	学校教育課			
事業概要	小・中学校の防災計画作成及び地域との合同防災訓練を実施します。					
事業の対象	対象(誰を・何を)					
	児童・生徒・保護者					
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
	災害時に備え、学校防災計画や学校防災マニュアルに基づいた研修や訓練を行い、安全・安心な教育環境づくりをめざす。					
具体施策 (Plan)	小・中学校のそれぞれの地域の実態に応じた防災計画を作成し、地域との合同避難訓練を実施する。					
令和3年度 事業実績状況 (Do)	すべての小・中学校で地域の実態に応じた学校防災計画や学校防災マニュアルに基づいた研修や訓練を密を避けて行った。また感染症対策を実施しながら、防災等出前授業を行った。小学校区内で実施している自主防災組織連合会防災訓練はコロナ禍のため実施できていない。					
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少	<input type="radio"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない		
総合評価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)					
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない		
総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
	4	3	3	3		
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	今後も、家庭や地域、行政、関係機関と連携しながら地域全体で、安全を確保する体制づくりに取り組む。
教育委員会評価 (二次評価)	今後も家庭や地域、行政、消防、警察等の関係機関と連携しながら、地域全体で安全を確保する体制づくりの構築に努めてください。					

推進施策	1-5 安全・安心な教育環境づくり	No.	22		
事業名	安全教育の充実	担当課	学校教育課		
事業概要	<p>通学路の危険箇所の合同点検や安全点検を実施します。</p> <p>交通安全指導教室を実施します。</p> <p>阿波市青少年育成センターや警察署と連携して、防犯教室を実施し危機管理能力の育成を図ります。</p>				
事業の対象	対象(誰を・何を)				
	児童・生徒				
事業の対象	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	子どもたちに自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質や能力を身につけさせるとともに、安全・安心な教育環境づくりを進める。				
具体施策 (Plan)	通学路点検や交通安全教室の開催、青少年育成センター・警察・地域と連携しての防犯教室を実施する。				
令和3年度 事業実績状況 (Do)	阿波吉野川警察署、県東部県土整備局、市建設課、小・中学校の各担当者に加え、PTAや青少年育成センターも参加し、通学路危険箇所合同点検を実施した。令和3年度は51箇所の点検を行い、関係各所に外側線の塗り直しやカーブミラー・防犯灯の設置等を依頼したり、学校における児童生徒への安全教育を行った。				
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	<input checked="" type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少	<input type="radio"/> かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="radio"/> 十分できている	<input type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
事業の評価 (Check)	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価 優れた取組が多く、十分成果が上がっている
	4	3	4	3	
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	阿波市通学路交通安全プログラムをもとに、対策実施後の効果把握を目的に、PDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図る。	
教育委員会評価 (二次評価)	今後も危険箇所の調査を行い、関係機関へ改善要望を行うとともに、通学方法の検証など、学校での交通安全教室や防犯教室を継続してください。				

推進施策	1-6 小・中・高等学校の連携強化	No.	23			
事業名	連携強化の取組	担当課	学校教育課			
事業概要	<p>学校行事、部活動の合同実施をします。</p> <p>連携強化のための研修会を実施します。</p> <p>交流学习や乗り入れ授業を実施します。</p>					
事業の対象	対象(誰を・何を)					
	児童・生徒					
事業の対象	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
	小・中学校が連携した教育課程の編成や実施に加え、相互交流等を充実し、子どもたちの発達段階や実情に応じた指導を行う。					
具体施策 (Plan)	校種間連携を図りながら、環境の変化による中1ギャップや高1クライシスを予防する。オープンスクールを開催したり、校種間の交流の機会を増やしたりする。また、平成14年度から市場中学校・阿波中学校が、連携型中高一貫教育校の阿波西高校と中高の連携を深めている。					
令和3年度 事業実績状況 (Do)	中学校では、小学生対象のオープンスクールに代えて、小学校で入学説明会を開催した。また、中高一貫教育を推進するため、市場中・阿波中と阿波西高校との間で、教員の相互交流や部活動での練習試合を行った。					
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input type="radio"/> 増加	<input checked="" type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少			
	<input type="radio"/> かなり減少					
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない			
	<input type="radio"/> できていない					
事業の評価 (Check)	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない			
	<input type="radio"/> できていない					
	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)					
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない			
	<input type="radio"/> できていない					
総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
	3	3	3	3	B	
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	小・中・高の連携強化のための体制づくりに努め、校種を超えた研修会、研究会への参加を推進する。
教育委員会評価 (二次評価)	今後も、小・中・高の連携強化に努め、地元愛を深められる、交流や研修を推進してください。					

推進施策	1-7 学校施設の整備	No.	24			
事業名	施設の長寿命化工事	担当課	教育総務課			
事業概要	令和2年度に策定された、「阿波市学校施設長寿命化計画」に基づき進めます。					
事業の対象	対象(誰を・何を)					
	公立学校施設					
事業の対象	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
	施設の劣化状況や過去に行った改修工事等を適切に把握し、建物の耐久性を高めることに加え、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる改修等を行う。					
具体施策 (Plan)	老朽化に伴う改修工事を実施する。					
令和3年度 事業実績状況 (Do)	<input type="radio"/> 土成小学校校舎大規模改修その他工事 (工事請負費194,535千円) + (監理業務2,772千円) = 197,307千円 <input type="radio"/> 久勝小学校プール大規模改修工事 (工事請負費61,743千円) + (監理業務979千円) = 62,722千円					
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input type="radio"/> 増加	<input checked="" type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少			
	<input type="radio"/> かなり減少					
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない			
	<input type="radio"/> できていない					
事業の評価 (Check)	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない			
	<input type="radio"/> できていない					
	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)					
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない			
	<input type="radio"/> できていない					
総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
	3	3	3	3	B	
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	令和4年度には、吉野中学校屋内運動場大規模改修工事に伴う設計業務を行う。今後も長寿命化計画に基づき、学校施設の整備を行う。
教育委員会評価 (二次評価)	今後も施設の長寿命化に向け、計画的に学校施設改修工事を年次的に取り組むとともに、ライフサイクルコストの縮減に努めてください。					



推進施策	1-7 学校施設の整備	No.	25		
事業名	施設バリアフリー化	担当課	教育総務課		
事業概要	令和2年度に策定された、「阿波市学校施設長寿命化計画」に基づき進めます。				
事業の対象	対象(誰を・何を)				
	公立学校施設				
事業の対象	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	障がいのある児童生徒等が安全かつ円滑に学校生活を送ることができるように配慮する。学校施設のバリアフリー化等の教育的な意義に配慮する。				
具体施策 (Plan)	スロープやエレベーター、多目的トイレ等を設置する。				
令和3年度 事業実績状況 (Do)	久勝小学校のプールの改修工事を行い、スロープを設置した。				
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	<input type="radio"/> 増加	<input checked="" type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少	<input type="radio"/> かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない	<input type="radio"/> できていない	
総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
	3	3	3	3	
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	多様なニーズを踏まえ、より良い教育環境を確保するため、学校施設の整備に取り組む。	
教育委員会評価 (二次評価)	今後もニーズに合わせた学校施設の、バリアフリー化に取り組んでください。				

推進施策	1-7 学校施設の整備	No.	26			
事業名	教育施設の充実	担当課	教育総務課			
事業概要	特別教室のエアコン設置に取り組んでいきます。					
事業の対象	対象(誰を・何を)					
	公立学校施設					
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
	快適で安心して利用できる施設整備の充実に努める。					
具体施策 (Plan)	特別教室にエアコンを設置する。					
令和3年度 事業実績状況 (Do)	設計・監理 <input type="radio"/> 阿波市内小中学校理科室ほか空調機設置工事に伴う設計業務 (2,453千円) <input type="radio"/> 一条小学校ほか7校家庭科室空調機設置工事に伴う設計業務 (605千円) <input type="radio"/> 吉野・土成地区小中学校理科室ほか空調機設置工事に伴う監理業務 (649千円) <input type="radio"/> 市場・阿波地区小中学校理科室空調機設置工事に伴う監理業務 (289千円) <input type="radio"/> 一条小学校ほか7校家庭科室空調機設置工事に伴う監理業務委託 (198千円) 工事 <input type="radio"/> 吉野地区小中学校理科室ほか空調機設置工事 (15,873千円) <input type="radio"/> 土成地区小中学校理科室空調機設置工事(その2) (5,863千円) <input type="radio"/> 市場地区小中学校理科室空調機設置工事 (9,889千円) <input type="radio"/> 阿波地区小中学校理科室空調機設置工事 (11,836千円) <input type="radio"/> 一条小学校ほか7校家庭科室空調機設置工事(その2) (16,000千円)					
事業の評価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか。)					
	<input type="radio"/> 増加	<input checked="" type="radio"/> 横ばい	<input type="radio"/> 減少			
	<input type="radio"/> かなり減少					
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input type="radio"/> 十分寄与する	<input checked="" type="radio"/> 概ね寄与する	<input type="radio"/> あまり寄与していない			
	<input type="radio"/> できていない					
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)						
<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない				
<input type="radio"/> できていない						
目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)						
<input type="radio"/> 十分できている	<input checked="" type="radio"/> できている	<input type="radio"/> あまり寄与していない				
<input type="radio"/> できていない						
総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
	3	3	3	3	B	
事業の方向性	<input type="radio"/> さらに重点化する <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="radio"/> 見直しのうえ継続する <input type="radio"/> 事業の縮小を検討する <input type="radio"/> 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	国の動向を注視しながら、「個別最適化された学びの実現」と「安全安心な教育環境の確保」のための施設整備を行う。
教育委員会評価 (二次評価)	今後もニーズに即した、教育設備の整備に努めてください。					